

1. 地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な方針

本県の県内総生産は8兆853億円（平成16年度）で全国16位、また、製造品出荷額については、平成17年度8兆5,776億円で過去最高（全国11位）となり、概ね順調に推移している。

県内総生産の内訳を見ると、第2次産業のシェアが42.5%で全国平均より15%以上高くなっており、本県は製造業のウエイトが高いものづくり県としての特徴を持っている。

平成17年度の本県の製造業の状況を事業規模別に見ると、中小企業は製造品出荷額では県全体の44.9%、事業所数・従業員数はそれぞれ98.3%と67.2%を占め、地域の雇用の大部分を担っており、これら中小企業が県民生活に与える影響は大きい。本県経済の一層の発展のためには、こうした中小企業の競争力ある商品・サービスの開発、販路の拡大、経営基盤の強化、さらには新たな分野への取組促進を支援・振興することが重要な課題となっている。

本県には39年連続日本一の生産量を誇る「いちご」、収穫量日本一の「にら」、「かんぴょう」、「あさ」や近年その品質の良さでブランド牛としての地位を確立した「とちぎ和牛」などの農林水産物をはじめ、益子焼、結城紬、日光彫などの特色ある鉱工業品及びそれに係る技術並びに「塩原温泉」や「鬼怒川温泉」などの温泉地、世界遺産に登録された「日光の社寺」、国の重要無形民俗文化財に指定されている「山あげ祭」、日本最古の大学である「足利学校」などの豊かな観光資源といった、全国に誇る地域資源が数多く存在している。

これら地域資源を活用した取組を見ると、地場産業である足利の繊維や鹿沼の木工などにおいては、ブランド化を図り新たな取組にチャレンジする動きが見られ、また、宇都宮の餃子・カクテル、佐野のラーメンなど、地域資源を活用した様々な取組は県内各地で約100件にもおよび（平成19年2月 F/S 調査結果）地域経済の発展に大きく寄与している。

本県経済のさらなる活性化のためには、観光産業をはじめとする多様な産業が力強く成長・発展するよう振興を図ることが重要である。このため、産学連携や農工連携等の垣根を超えたアイデアの結集による新たな商品づくりや新サービスの提供、大都市市場や海外市場を視野に入れたマーケティング戦略、食や健康と融合した観光ルートづくりなど、本県の有する地域資源を有効に活用して新たな事業化にチャレンジする中小企業の取組を推進する。

2. 地域産業資源の内容

当県において、その産業資源を活用した中小企業による事業を促進する意義があると考えられる資源は以下のとおりである。

(1) 農林水産物

名称	地域産業資源に係る地域
いちご	栃木県全域
そば	栃木県全域
大豆	栃木県全域
栃木のお米	栃木県全域
とちぎ和牛	栃木県全域
トマト	栃木県全域
はちみつ	栃木県全域
梨	栃木県全域
にら	栃木県全域
二条大麦	栃木県全域
生乳	栃木県全域
ヤシオマス	栃木県全域
アスパラガス	宇都宮市
宇都宮牛	宇都宮市
さしもぐさ	栃木市
宮ねぎ	栃木市
ひめきゅうり	栃木市
ぶどう	栃木市、岩舟町
かき菜	佐野市
鹿沼こんにゃく	鹿沼市
鹿沼のさつき	鹿沼市
あさ	鹿沼市
はとむぎ	鹿沼市
	小山市
シクラメン	日光市
ひめます	日光市
鮎	大田原市、那須烏山市、茂木町、那珂川町
八溝杉	大田原市、那須烏山市、那須町、那珂川町
ブルーベリー	大田原市、那須塩原市、那須町
大田原市のうど	大田原市
大田原産唐辛子「栃木三鷹」	大田原市
白美人ねぎ	大田原市
矢板のりんご	矢板市

しいたけ	宇都宮市、矢板市、さくら市、茂木町、市貝町、芳賀町、塩谷町、高根沢町
塩原高原大根	那須塩原市
喜連川温泉なす	さくら市
みかん	那須烏山市
ゆず	茂木町
きく	塩谷町
温泉トラフグ	那珂川町

(2) 鉱工業品又は鉱工業品の生産に係る技術

名称	地域産業資源に係る地域
医療機器	栃木県全域
光学機器及び光技術応用機器	栃木県全域
自動車及び自動車部品	栃木県全域
航空宇宙部品	栃木県全域
栃木の酒（日本酒）	栃木県全域
そば	栃木県全域
かんぴょう	下野市、小山市、壬生町、上三川町、宇都宮市
宇都宮餃子	宇都宮市
カクテル	宇都宮市
大谷石	宇都宮市
アルミ製品	足利市
織物製品	足利市、栃木市、佐野市、小山市、岩舟町
染色・繊維染色製品	足利市、栃木市、佐野市、小山市、岩舟町
ニット製品	足利市、栃木市、佐野市、小山市、岩舟町
プラスチック製品	足利市、栃木市、佐野市、小山市、岩舟町
レース製品	足利市、栃木市、佐野市、小山市、岩舟町
草木染・藍染	足利市
	益子町
トーションレース	足利市
足利の着尺	足利市
足利銘仙	足利市
栃木鬼瓦	栃木市、佐野市
栃木の桐下駄	栃木市
栃木の線香	栃木市
栃木の樽	栃木市
ジャガイモ入りヤキソバ	栃木市
都賀の座敷箒	栃木市

新波の提灯	栃木市
よしず	栃木市
いもフライ	佐野市
天明鋳物	佐野市
佐野ラーメン	佐野市
石灰・ドロマイト	佐野市、栃木市
鹿沼組子書院障子	鹿沼市
鹿沼土	鹿沼市
鹿沼の建具	鹿沼市
きびがら細工	鹿沼市
日光ゆば	日光市
日光彫	日光市
たまり漬け	日光市
杉線香	日光市
日光の水	日光市
本場結城紬	小山市、真岡市、下野市、上三川町
真岡木綿	真岡市
黒羽藍染	大田原市
竹工芸	大田原市
烏山手すき和紙	那須烏山市
益子焼	益子町
クヌギ黒炭	市貝町
武者絵	市貝町
玩具	壬生町
尚仁沢湧水	塩谷町
芦野石	那須町
小川地区の温泉水	那珂川町
小砂焼	那珂川町

(3) 文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源

名称	地域産業資源に係る地域
宇都宮城址公園	宇都宮市
オタリヤ	宇都宮市
菊水祭	宇都宮市
カトリック松が峰教会	宇都宮市
関白獅子舞	宇都宮市
旧篠原家住宅	宇都宮市
西下ヶ橋	宇都宮市

日光街道桜並木	宇都宮市・日光市
ふるさと宮まつり	宇都宮市
梵天祭	宇都宮市
ミヤ・ジャズ	宇都宮市
羽黒山	宇都宮市
大谷と多気不動尊	宇都宮市
宇都宮市森林公園	宇都宮市
古賀志山	宇都宮市
飛山城史跡公園	宇都宮市
うつのみや遺跡の広場	宇都宮市
長岡百穴古墳	宇都宮市
塚山古墳群	宇都宮市
大谷の奇岩群	宇都宮市
二荒山神社	宇都宮市
鏝阿寺本堂	足利市
足利学校跡	足利市
長林寺本堂	足利市
織姫神社社殿	足利市
巖華園	足利市
樺崎寺跡	足利市
名草の巨石群	足利市
行道山浄因寺	足利市
足利花火大会	足利市
あしかがフラワーパーク	足利市
栗田美術館	足利市
八木節	足利市
鎧年越	足利市
ペタンコ祭	足利市
渡良瀬橋の夕日	足利市
美人弁天	足利市
下野国一社八幡宮・門田稻荷神社	足利市
太平山	栃木市
出流山満願寺	栃木市
巴波川	栃木市
県庁堀 附 漕渠	栃木市
とちぎ秋祭り	栃木市
栃木市の蔵の街並み	栃木市
星野遺跡	栃木市

渡良瀬遊水地	栃木市
つがの里	栃木市
渡良瀬遊水地のヨシ焼き	栃木市
渡良瀬バルーンレース	栃木市
医王寺	鹿沼市
鹿沼ぶっつけ秋祭り	鹿沼市
生子神社泣き相撲	鹿沼市
発光路強飯式	鹿沼市
奈佐原文楽	鹿沼市
鬼怒川温泉	日光市
日光の社寺	日光市
日光霧降高原	日光市
龍王峡	日光市
龍王祭	日光市
足尾銅山	日光市
琵琶塚古墳	小山市
摩利支天古墳	小山市
小山の花火	小山市
小山評定跡	小山市
間々田のジャガマイタ	小山市
祇園祭	小山市
桜町陣屋跡	真岡市
専修寺	真岡市
真岡の夏祭り	真岡市
大雄寺	大田原市
くろばね紫陽花まつり	大田原市
侍塚古墳	大田原市
那須神社	大田原市
与一まつり	大田原市
道の駅那須与一の郷	大田原市
上大貫の城鍬舞	那須塩原市
旧塩原御用邸新御座所	那須塩原市
逆スギ	那須塩原市
塩原温泉	那須塩原市
塩原平家獅子舞	那須塩原市
関谷の城鍬舞	那須塩原市
国見の棚田	那須烏山市
山あげ祭	那須烏山市

鉄造薬師如来坐像	西方町
実相寺「木造 出山釈迦像」	西方町
祇園祭	益子町
西明寺	益子町
地藏院本堂	益子町
綱神社摂社大倉神社本殿	益子町
綱神社本殿	益子町
石畑の棚田	茂木町
芝ざくら公園	市貝町
般若寺跡	芳賀町
唐桶溜	芳賀町
壬生町ふるさとまつり	壬生町
厄除節分祭	壬生町
旧下野煉化製造会社煉瓦窯	野木町
ひまわり	野木町
村檜神社	岩舟町
高勝寺三重塔	岩舟町
高勝寺山門	岩舟町
高勝寺鐘楼	岩舟町
大慈寺相輪塔	岩舟町
宇津史料館・宇津誠意軒・宇津薬師堂・宇津観音堂	高根沢町
風見の神楽	塩谷町
茶臼岳	那須町
殺生石	那須町
中の大倉尾根のゴヨウツツジ	那須町
那須温泉	那須町
那須街道の赤松林	那須町
那須九尾まつり	那須町
八幡のつつじ	那須町
御神火祭	那須町
馬頭温泉郷	那珂川町
唐御所横穴	那珂川町
那須神田城跡	那珂川町
鷲子山上神社	那珂川町
富山の佐々良舞	那珂川町

3. 地域産業資源を用いて行う地域産業資源活用事業を促進することにより当該地域産業資源に係る地域の経済の活性化を推進する方策

1. 個別地域産業資源に関する施策

① 意識醸成

所管部	事業名	事業概要	対象資源
農政部	とちぎの農産物高付加価値化推進事業	農業と商工業の連携を促進し、地域の特色ある農産物の新たな活用に向けた研究会、交流会を開催する。	農林水産物

② 具体的研究

所管部	事業名	事業概要	対象資源
産業労働観光部	とちぎ未来チャレンジファンド事業	地域資源を活用した新商品・新サービスの研究開発に要する経費に対して助成を行う。	全て
	フードバレーとちぎ農商工ファンド事業	農商工連携による新商品開発や技術の高度化の研究に要する経費に対して助成を行う。	農林水産物 鉱工業品 (加工食品)
農政部	アグリフードビジネス支援事業	生産者組織等が行う、農産物の付加価値を高める加工等の取組を支援する。	農林水産物

③ 実行段階

所管部	事業名	事業概要	対象資源
総合政策部	わがまち協働推進事業	地域が持つ様々な資源や魅力を活用しながら、住民自らが発案し、主体となって取り組む地域づくり活動や、新たな地域づくりの可能性開拓と相乗効果の創出に向け広域的な取組を推進するための取組を行う地域づくり団体及び市町に対し助成を行う。	全て

所管部	事業名	事業概要	対象資源
産業労働観光部	国際見本市出展事業	中国で開催される国際見本市への出展や、香港駐在員と連携した香港における商談会開催等により、中国を中心とした東アジア地域への、本県産の加工食品等の海外販路開拓・拡大を図る。	鉱工業品 (加工食品)
	デザイン振興事業	県内事業者のデザイン性が優れた商品等を「Tマーク商品」として選定することによりPRを図る。	鉱工業品

	地場産業振興事業	産地ブランド確立、新商品開発のために組合等が取り組む事業への支援	鉱工業品 (地場産品)
	伝統工芸品産業振興事業	県指定の伝統工芸品のPR及び伝統的な技術・技法を活かした新製品開発の促進を図る。 常設展示場の運営・伝統工芸士による製作実演、製作体験教室の実施・新商品の企画、開発に向けた研究会の開催。 産地組合等が行う伝統工芸品産業の競争力強化に向けた取組を支援する。	鉱工業品 (伝統工芸品)
	とちぎ県産石材利活用促進事業	石材組合等が行う県産石材の需要拡大に向けた取組及び中小企業者等による県産石材の利活用の取組を支援する。	鉱工業品
	産学官連携促進事業 (技術・資源フォーメーション支援事業)	新商品開発等に係る研究会と産学官連携の手法を習得する場の提供	
	地域振興調査事業・むらおこし総合活性化事業	商工会等が、地域経済の活性化を図るため実施する特産品等の地域資源に関する調査・研究等や、特産品等の開発・普及に要する経費に対し助成を行う。	全て
	フードバレーとちぎ農商工ファンド事業	農商工連携による販路開拓に要する経費に対して助成を行う。	農林水産物 鉱工業品 (加工食品)

所管部	事業名	事業概要	対象資源
農政部	「とちぎ食の回廊」魅力向上事業	県及び10ある食の街道推進協議会の連携を図りながら県民向けフォーラムの開催や県外へのプロモーション活動等を実施し「とちぎ食の回廊」のさらなる魅力向上を図る。	農林水産物 鉱工業品 (牛乳乳製品、そば、かんぴょう等)
	県内商談会出展支援事業	食品流通業者が主催する展示商談会への農業者等の出展を支援する。	農林水産物
	県産農産物等需要創出促進事業	Webサイトを利用した情報提供、地域の食と観光資源とを結びつけた誘客促進、首都圏のホテル等での県産食材フェアの開催等により県産農産物の新たな需要創出を図る。	農林水産物 鉱工業品 (そば、かんぴょう等)

とちぎブランド推進事業	県統一ブランド化を図るための統一ロゴマーク等の普及、とちぎブランド確立のための新たな品目の発掘・育成等を行う。	農林水産物 (農産物)
とちぎブランド消費宣伝事業	県産農産物の販路拡大を図るため消費拡大、情報発信、宣伝活動を行う。	農林水産物 (農産物)
とちぎの食でおもてなし事業	県内旅館・ホテル等で県産農産物を使った料理の提供を促進するとともに、首都圏のホテル等におけるイベントにおいて県産農産物や料理等を紹介し、ブランド力の向上及び本県への誘客を図る。	農林水産物 (農産物)
意欲ある農業者販路開拓支援事業	こだわりを持った農産物を生産する意欲ある生産者の販路開拓を支援する。	農林水産物 (農産物)
とちぎブランド農産物等輸出拡大事業	本県農産物のブランド力の強化を図るため、見本市へ出展するなど農産物・加工品の海外輸出をとちぎ農産物マーケティング協会と連携して促進する。	農林水産物 (農産物)
戦略作物産地形成推進事業	実需者が求める麦や大豆、加工用米等の品種転換及び新技術の確立等による生産性・品質向上の取組を支援し、戦略作物の産地形成を図る。	農林水産物 (麦、大豆、米)
「なつおとめ」産地育成事業	「なつおとめ」の栽培技術確立や商品づくりのための取組を支援する。	農林水産物 (いちご)
加工・業務用需要対策事業	農協等による加工・業務用農産物の安定生産・供給に向けたプログラム策定や生産体制整備を支援する。	農林水産物 (農産物)
肉用牛生産対策事業	能力の高い受精卵供給卵牛の導入や肥育期間短縮のための取組への支援等により、「とちぎ和牛」の生産基盤を強化する。	農林水産物 (とちぎ和牛)

所管部	事業名	事業概要	対象資源
環境森林部	特用林産振興指導事業	はたけしめじ2品種の登録品種及び栽培技術の特許権を維持し、はたけしめじの普及を図る。	農林水産物 (はたけしめじ)
	とちぎ材マーケティング推進事業(とちぎ材首都圏販売促進事業)	地理的優位性を活かして、首都圏への県産出材の販売を促進するため、交流会を開催する。	農林水産物 (県産出材)

	とちぎ材の家づくり支援事業	県産出材を一定割合以上利用した木造住宅の建設を支援する。	農林水産物 (県産出材)
	とちぎもりの恵みブランド化促進事業	特用林産物を原材料とする加工品のブランド化を図るため、産地の中間業者・加工業者による協議会の開催・運営を支援する。	農林水産物 (特用林産物)
	林業センター試験研究費(木材試験研究)	木材試験施設(オープンラボラトリー)で、木材業界等と連携しながら、県産出材の品質向上及び利用技術に関する試験研究を行う。	農林水産物 (県産出材)

④ ブランド管理

所管部	事業名	事業概要	対象資源
産業労働観光部	知的財産普及啓発事業	中小企業の研究者や技術者に知的財産に係る専門的な知識の習得の場を提供する。	
農政部	知的財産権取得推進事業	農務部の試験研究機関等で開発された新品種、新技術等の権利取得を推進するとともに、育成者権、特許権等の適正な管理を行う。	
	農産物知的財産権センター事業	「栃木県農産物知的財産戦略」に基づき、本県農産物知的財産権の創造、保護及び活用を推進する。	農林水産物 (農産物)

2. 関連する施策

本県においては、中小企業による地域産業資源を活用した事業を促進し、地域経済の活性化を図るため、以下の中小企業支援施策を実施する。

① 中小企業の総合支援

とちぎ中小企業未来チャレンジ戦略に基づくとちぎの未来チャレンジ事業により中小企業の活性化、本県の強みである産業集積の活用及び経営力の強化を促進し、中小企業の底上げを図る。

② 新事業創出に向けた支援環境の整備

産学官34支援機関のネットワークによる総合支援体制「とちぎ産業振興ネットワーク」において、各支援機関の有する機能を活用し、挑戦し成長する中小企業による新事業の創出に向けて、チャレンジ精神を持った個人や企業の取組を、研究開発から事業化に至るまで、各段階に応じたきめ細かな支援を行う。

③ 資金調達の円滑化

制度融資等において、中小企業者が積極的な事業展開を図るため、創業・新事業開拓・事業転換・設備投資など様々なニーズに対応した事業資金を円滑に調達できるよう、支援していく。

④産学官連携の推進

地域産学官連携組織の活動促進を図るとともに、個別プロジェクト形成を目指す研究グループに対し、活動に要する経費の支援や専門家派遣等を行い、多様な研究プロジェクトを数多く創出する。

⑤経営革新の促進

競争力の高い中小企業の経営に向けて、内外における地域間・企業間競争の激化に対応し、市場を強く意識した商品やサービスの開発、販路開拓など企業の経営革新を、助言・指導、フォローアップ等、総合的・効果的に支援する。

⑥ITを活用した経営革新の促進

企業のIT化の促進を図る上でIT産業の役割が重要となっていることから、大学とIT産業の連携による即戦力となるIT人材の育成・確保、ITベンチャーの創業等支援などの取組を行う。

⑦技術革新等への取組の促進

中小企業の新技術・新製品開発や技術力向上などの技術革新及び製品・サービスの高付加価値化を促進するため、産業技術センターにおいて研究テーマの公募による共同研究をはじめ、試験研究機器の開放、共同研究実験室の設置、企業への職員派遣、技術交流会の開催など中小企業の技術ニーズを踏まえた、各種技術支援を行う。

⑧地域中小企業の連携等による新たな展開の促進

ものづくり技術強化事業において、地域の核となる中小企業と複数の小企業群を形成して取り組む新製品開発や事業化を支援することで、中核となる企業の育成と連携企業の技術力向上を促進する。

⑨地域ブランド力の強化

とちぎの技術ブランド強化事業において本県の技術ブランドであるフロンティア企業の認証や、認証技術・製品の積極的なPRを行うことにより、固有技術・製品の競争力の強化を図る。また、ものづくりに関するフォーラムを開催し、フロンティア企業の技術開発マインドを高め、企業の技術強化による競争力及び自主性の向上を促進する。

⑩地域密着型ビジネスの振興

コミュニティービジネスの総合相談窓口の開設、農村レストランなど任意グループで活動している団体の経営・組織化支援など、創業意欲のある者の具体的な取組を支援していく。

⑪フードバレーとちぎの推進

本県の良質で豊かな水や農林水産物を活かし、産学官による商品開発・技術開発や、海外市場も視野に入れた販路開拓への支援、さらに、本県の強みを活かした企業誘致の推進や、農業をはじめとする関連産業の高付加価値化を図り、“食”をテーマに地域経済が成長・発展し、活力あふれる“フードバレーとちぎ”を目指す。